

島津製作所の乳がんへの 取り組みについて

株式会社島津製作所 医用機器事業部 グローバルマーケティング部

● はじめに

現在、乳がんは日本人女性のがんの罹患数で第1位であり、生涯の中で9人に1人は乳がんになると言われている。また本邦の乳がんの年間の年齢調整死亡率は横ばい傾向ではあるが¹⁾、今後これを減少に転じさせるには、乳がん検診の受診率の向上や乳がんの早期発見の技術、乳がんの治療技術が進むことが必要と考え

られる。

島津製作所はX線撮影・透視装置などから分析機器に至るまで、多くの医療用途での装置を開発・上市している。本稿ではその一部を紹介しながら当社の乳がんへの取り組みを紹介する(図1)。

● 乳房専用PET検査

乳房専用PET装置には、マンモグラフ

ィーのように2枚の平板で乳房を挟んで撮像するタイプと、寝台部にある検査ホールに腹臥位にて乳房を挿入してPET検査を行うタイプ(以下、マンモPETと呼称する)の2種類がある。島津製作所は後者のタイプの乳房専用PET装置を継続的に開発・上市している。マンモPETの特長としては、乳房を圧迫することがなく、自然下垂させることによって病変の広がりを描画できる点と、乳房の呼吸体動による病変の移動・画像のボケが抑制できることで、特に小病変・微小構造の

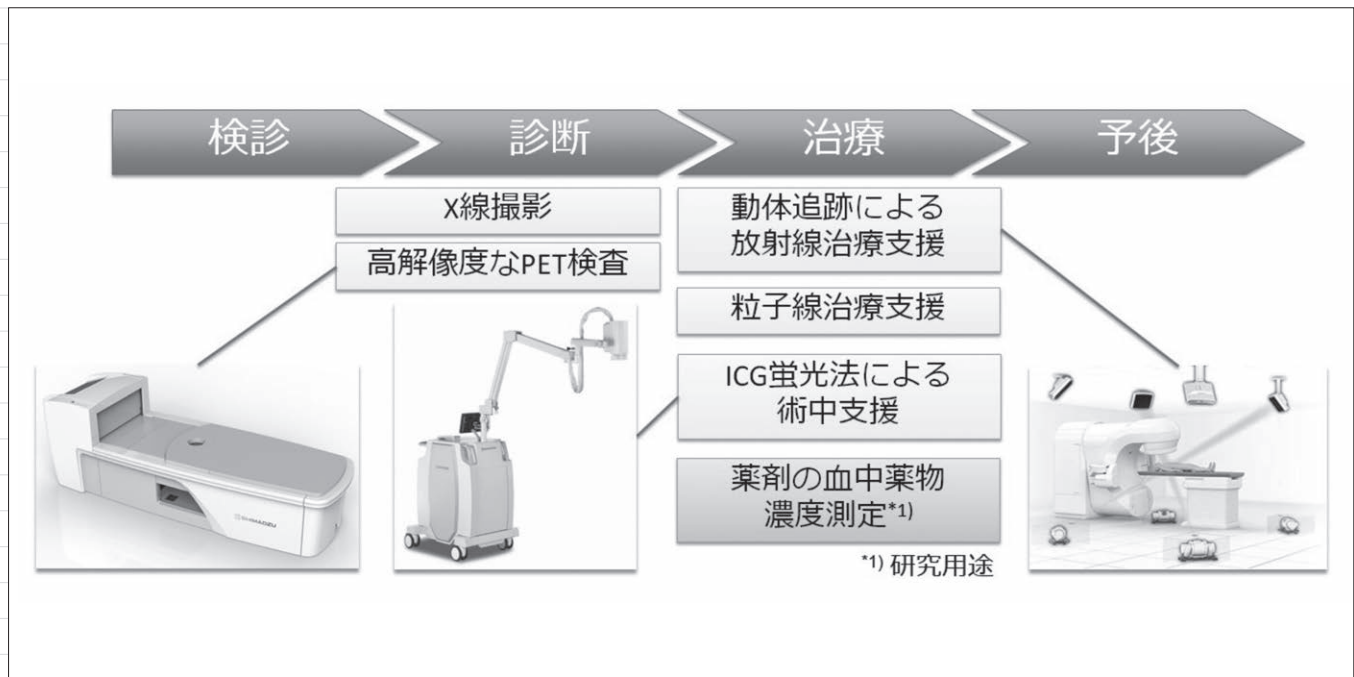


図1 島津製作所の乳がんに対するソリューションのフェーズとその製品群(一部)